

製品名: ジスフェリン (19Q14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10242**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500
分子量	237kDa

抗原情報

遺伝子名	DYSF
別名	DYSF; Dysferlin; Fer-1-like protein 1;
遺伝子 ID	8291.0
SwissProt ID	O75923
免疫原	ヒトジスフェリンの合成ペプチド

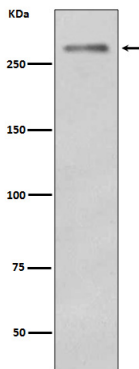
背景

ジスフェリン Ca(2+) 誘導シナプス小胞-細胞膜融合に関与する主要なカルシウムイオンセンサー。骨格筋と心筋細胞の両方において、機械的ストレスによって破壊された膜の迅速な再密閉を可能にする筋鞘修復機構において役割を果たしている。フェリンファミリーに属し、CACNA1S と相互作用する。ANXA1 と相互作用し、その相互作用は Ca(2+) および損傷状態に依存している。Ca(2+) 誘導シナプス小胞-細胞膜融合に関与する主要なカルシウムイオンセンサー。骨格筋と心筋細胞の両方において、機械的ストレスによって破壊された膜の迅速な再密閉を可能にする筋鞘修復機構において役割を果たしている (類似性による)。

研究分野

-

画像データ



マウス骨格筋組織溶解物におけるジスフェリン発現のウェスタンブロット分析。